

2019.12.20

畑 啓之

2020年の干支はネズミ 絵馬の設置が始まる 私が気になるのは京都の大豊神社

2020年にちなんだネズミの絵馬設置

加古川・日岡神社

神戸新聞 2019.12.14

来年のえと「子」を描いた巨大絵馬（幅5メートル、高さ3・5メートル）が、兵庫県加古川市加古川町大野の日岡神社に登場した。かわいらしい絵柄のネズミたちが、初詣客らを楽しませそうだ。



大豊神社（京都観光街めぐりのホームページより抜粋）

大豊神社（おとよじんじゃ）は、狛犬ならぬ狛ネズミがある小さな神社です。最近でこそ、インターネット上の口コミで人気が出て来てはいますが、以前は知る人ぞ知る神社でした。この神社は、889年に宇多天皇の病氣平癒の祈願のために創建された、古い歴史のあるお社です。ただし、狛ネズミがつくられたのは、ずっと新しく1969（昭和44）年のこと。大国主命（おおくにぬしのみこと）が野火に囲まれ困っているとき、ネズミが洞穴に導いて命を救ったという『古事記』の記述に依っています。全国にある約8万社の神社のうち、狛ネズミがあるのはここだけです。子年の正月には、すごい数の参拝客が訪れるそうです。

※ この神社の祭りも含めた情報を次のアドレスに掲載しています。

[https://alchemist-jp.at.webry.info/201605/article\\_5.html](https://alchemist-jp.at.webry.info/201605/article_5.html)

